

ふれあい通信

旧4小学校跡地を有効活用

廃校活用の経緯

平成29年4月に4小学校の統合校として、小中一貫型の長南小学校を設置しました。このことにより、廃校となった4カ所の施設活用が新たな課題となりました。

学校は選挙の投票所や災害時の避難所、地域のイベント会場として使われており、廃校となっても同様に活用していくこととなります。それには、維持管理に手を抜くことなく、いつでも使える状態にしておく必要ありませんが、損傷個所の補修など、維持管理には財政負担が生じます。

そこで、町が必要な時に使用できるように条件をつけ、維持管理費を縮減するため、優良企業を誘致することとしました。

企業を誘致するといっても、全国的に少子化が加速度的に進んでおり、廃校となる施設が増えています。どの自治体でも廃校活用に苦慮しており、優良企業の誘致の市



長南町長
平野 貞夫



町間競争は激化しています。この競争に打ち勝つには企業に良い条件を用意しなければなりません。過疎地域で体力の弱い本町において良い条件とは、賃料を無料にすること、事務を迅速に進めることくらいしかないのです。

成功した企業誘致

積極的に誘致活動を行った結果、現在、廃校となった4カ所と旧長南幼稚園の全てに優良企業が進出してくれました。企業進出は、雇用を創出し、地域が活性化するなど、大きなメリットがあります。建物修繕費の一部負担や災害時の物資援助、ふるさと納税等での町への貢献度も高くなっています。

本町の廃校活用は注目されており、成功事例として何度もマスコミに取り上げられ、

県内外からの問い合わせや視察が多くあります。

旧東小学校は、スタジオ撮影・学校ロケ地として、旧西小学校は、団体向け宿泊施設・カフェとして、旧長南小学校は、パソコン販売・IT相談・ドライブインとして、旧豊栄小学校は、県の認可待ちではありませんが専門学校として、旧長南幼稚園は、里山再生につながる『竹の駅ちよつなん』として活用されています。

また、それぞれ独自のイベントを開催するなど、町の知名度も高まってきています。私としては、これらの企業が長南町において定着し、更に地域を盛り上げてくれるものと大いに期待しているところです。

なお、施設への無償貸与については、今後、企業の経営状況を見た中で有償とすることも考えていきたいと思っております。

